



1324 3年 守屋純平さん「元気なセミ」8/19

ぼく「朝からセミが元気に鳴いているね。」
姉「セミの鳴き声はどこもうるさいよ。」
ぼく「セミはなんで鳴くのだろう？」
姉「セミは何も考えていないと思う。」
ぼく「もしかしたらセミの仲間で鳴いて話しているかもよ。」

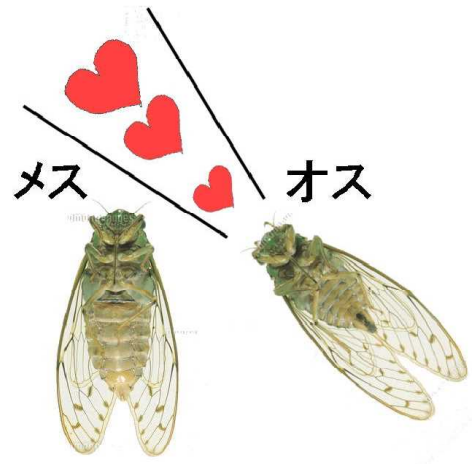
父「純平の答えはおいしい。半分は正解だ。
鳴いているセミはオスだけで、メス
に自分をアピールしているいるんだ
よ。ちょっと難しい言葉で言えば「求愛行動」だよ。」

ぼく「えー、男ばかり鳴いているの？」

姉「かっこ悪くない？」

父「そんなことないよ。セミはよう虫の時には土の中で何年も暮らして、せい虫になっても1ヶ月しか生きられない。だから一生けんめいに鳴いているんだよ。短いせい虫の期間をせいいっぱい生きている。」

★ 求愛行動を「かっこ悪い」と男（オス）が思う動物は、子孫が残せず絶滅です。



1325 4年 宮崎りおさん「セミの鳴き方」7/27

父「あー、セミがうるさくて目が覚めるわー。
もう少し小さい音ならいいのになー。」

私「力いっぱいセミは鳴いているね。どうして
セミはあんなにうるさく鳴くのかな？」

鳴いているのはオス。メスを呼ぶために鳴きます。
同じ種類でもちがった鳴き方をします。

短く切るように鳴くのは、近くにほかのオスが
いる時です。「ジリジリジリ」が「ジッジッジッ」

と変わります。ほかのオスが自分の目当てのメス

に近づくのじゃまする時の鳴き方で「じゃま鳴き」と言います。速いリズムで鳴く時は、メスに近づき仲よくなろうとする時の鳴き方で「さそい鳴き」と言います。鳴きながら後ろから近づき、前足でメスの羽に軽くふえます。メスはたいていパッと飛んで行ってしまいますが、そのままじっとしていたら、オスを気に入った合図です。

★ 同じセミでもちがう鳴き方をするので、セミの種類を調べる時に迷っていました。そういうことだったのですね。

